

生涯にわたる豊かな学び、 ふるさと宮津への誇りと愛着の醸成に向けて

[資料2]

令和2年1月16日(木)
教育委員会事務局 社会教育課

生涯学習活動の推進について

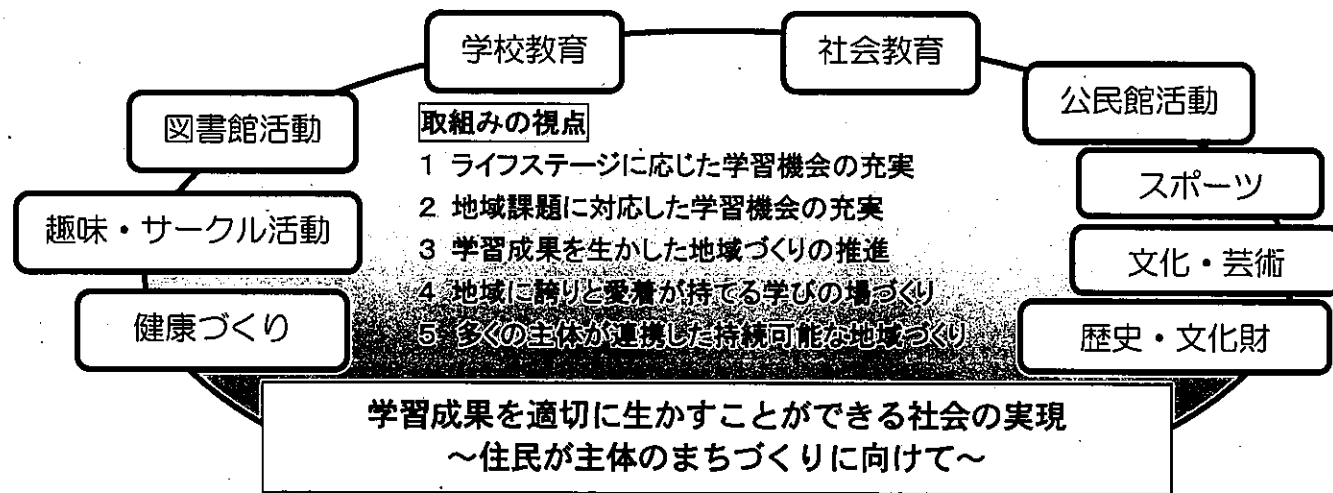
◆生涯学習活動は、一人ひとりの人生を豊かにし、さらに、学びを通して人間関係を豊かにします。人間関係が豊かな社会は、互いに信頼しあえる安全・安心な社会、協働しあえる社会をつくり、それは一人ひとりの生活や人生の豊かさに還元されていきます。生涯学習活動は、その意味で宮津市の「まちづくり」の土台を担う「人づくり」に繋がるといえるという認識のもと、一人ひとりの学びを推進しているところです。

宮津市(社会教育課)の活動状況について

- ◆生涯学習の拠点として、各地区公民館、図書館等を中心とした各種取り組み
中心市街地には拠点を設置していないが、5地区連携による青空公民館活動の取り組み
中央公民館事業として、「夏休み面白体験教室」「星座観測会」(小中学生対象)
- ◆青少年教育、人権教育、家庭教育、すこやか大学等各種取り組み
- ◆歴史・文化を活用した「ひとづくり・まちづくり」の推進【右側に抜粋記載】

生涯学習推進に向けた取り組みの方向性(イメージ)

◆文化・芸術活動、歴史・文化財、公民館活動、スポーツ、健康づくり、余暇・サークル活動、家庭教育、地域の活動、ボランティア活動、資格取得、学校での教育活動等、個人が自発的に、あるいは仲間と一緒に楽しく学び、新たな気づきを得て考えを深めたり視野を広げたりすることの全てが「生涯学習」です。
生涯学習は、個人の学ぶ楽しみの発見から、学びを通じた人間関係づくりや社会参画、また学習成果を生かした地域づくりへと繋げるため、市民が主体的に生涯学習に組み込み、学習成果を適切に生かすことができる社会の実現を目指す必要があります。
※令和3年度からの次期教育振興計画の策定作業の中で、今後の生涯学習のあり方、取り組みの方向性等について、改めて議論を深めていきたいと考えています。



行政の取り組みの方向性について

◆市民が生涯学習への関心を高め、一人ひとりが各段階に応じた学びや活動ができるように、また、その活動や学習成果が地域に広がり、宮津市のまちづくりが活性化するように、環境づくりや活動支援に努める。(個人の学びが地域に還元されるまち) そのための庁内連携、推進体制整備に努める。(総合行政体制づくり)

文化財の保全と活用について

◆近年の文化財保護・まちづくりに係る進捗成果

○H2～H17年度	「宮津市史」編纂刊行(資料編5巻・通史編2巻・絵図編・民俗誌)
○H7～H11年度	旧三上家住宅の整備(H12年度より公開 H15年度国指定)
○H9～H13年度	宮津市歴史史料館の整備(H14年度開館 H19年度より休館中)
○H14年度～	市内遺跡発掘調査(成相寺旧境内の国史跡指定=H28.10)
○H19年度～	天橋立世界遺産登録・まちなか観光等の取り組み
○H20年度～	文化的景観の取り組み(国選定=府中地区H26.3 文珠地区H27.1)
○継続	府・市指定文化財の指定等、継続的な文化財の調査と価値付け
○H26年度	北前船港まちづくりの取り組み(日本遺産登録=H30.5)

過去の文化財調査や市史刊行等の成果により、当市の豊かな歴史文化に係る資料が蓄積され、その保全活用・まちづくりの取り組み等も進んでいるが、新たな課題や視点も見られる中、現時点でこれら過去の成果を踏まえつつ再整理を行い、当市の文化財保存活用の取り組みを総合的に推し進めていく必要がある。

◆施策テーマ「ひとづくり・まちづくりに資する文化財の保全と活用

国レベルでの歴史や文化財に係る興味関心や政策効果への期待が高まるなか、市内文化財等の悉皆的調査とその総合的な把握を通じ、本市の豊かな歴史文化の特徴や価値を明らかにし、個別の文化財の保全を図りつつ、ひとづくり・まちづくりに資することが出来るよう、本市の総合的な文化財保護・活用について、そのあり方を模索・検討の上推進する。

当市の歴史文化の豊かさとその特徴を整理、その成果の普及啓発を通じ
ひとづくり=まちの未来を担う人々の知識・素養を高める(人材の育成)。
まちづくり=まちの未来のため何をすべきか考え実践する(施策の展開)。

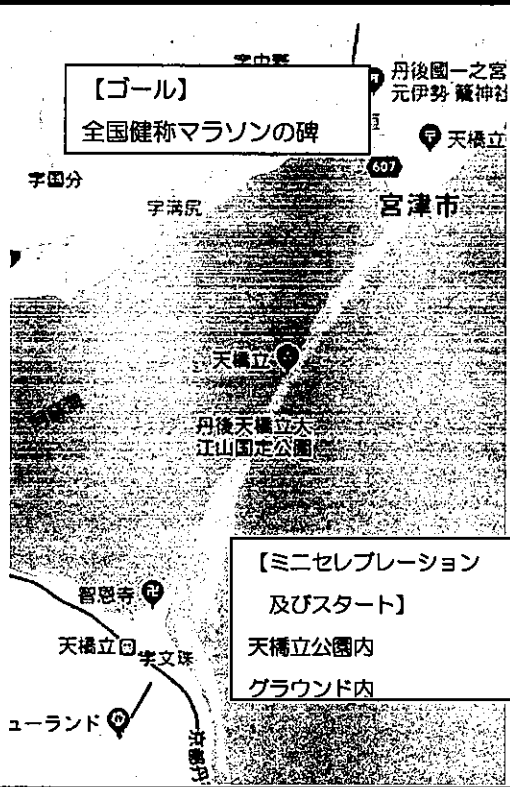
◆R2年度の重点施策(→総合的な観点を持ち施策展開)

- 「宮津市文化財保存活用地域計画」の作成(新規)
当市の歴史文化の総合的な把握を通じ、「ひとづくり・まちづくり」資することが出来るよう、文化財保護・活用に係るマスタープランを作成する。
○策定期間 R2～R3年度(予定)
○備考 作成にあたり協議会を組織、市民と一緒に調査検討を進める
・策定後5～10年間の実施施策を計画を盛り込む
・期間中、普及啓発事業(講演会等)の予算計上が可能
(学校・社会教育と連携、また資料館を活かした体験講座等)
- 【宮津市街地地区の重要な文化的景観の選定】(継続 ～R3年度)
- 【天橋立世界遺産登録の推進】(継続)
- その他既存重点事業】(継続)
 - 市内文化財の指定・登録等の推進(有形・無形の文化財の価値付け)
 - 市内遺跡(安国寺遺跡)発掘調査事業(埋蔵文化財の保護)
 - 旧三上家住宅の保全と更なる活用(観光サイドとの連携強化)
 - 休館中の歴史資料館を活かした体験講座等の実施(教育施設としての活用)

2. 東京 2020 オリンピック聖火リレーについて

- ◆2019年から2021年にかけて「ラグビーW杯」「東京2020オリンピック」「ワールドマスターゲームズ2021 関西」と3年に亘る国際スポーツイベントが開催される中、東京2020オリンピック聖火リレーを実施することで、市民に夢と希望を与える機会の創出を図るとともに、一人一人に豊かな「スポーツごころ」を育む機会とする。こうした機会を契機として、市民がスポーツに関心を持ち、スポーツに取り組むきっかけとなるよう各種施策を展開しているところ。

【東京2020オリンピック聖火リレーにおける主な取り組み】

<p>日時 令和2年5月26日(火) 午前中(予定)</p> <p>場所 天橋立公園内</p> <p>区間 天橋立公園内グラウンド ミニセレブレーション会場(点火式) ⇒ 全国健称マラソンの碑</p> <p>聖火ランナー 約200m/1人 2.6km</p> <p>ランナー集合場所 宮津市民体育館</p>	 <p>【ゴール】 全国健称マラソンの碑</p> <p>【ミニセレブレーション 及びスタート】 天橋立公園内 グラウンド内</p>
<p>【京都府聖火リレールート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆1日目(5月26日(火)) 京丹後市→宮津市→舞鶴市→綾部市 →福知山市→長岡京市→亀岡市 ◆2日目(5月27日(水)) 宇治市→宇治田原町→城陽市→木津川市 →精華町→京田辺市→八幡市→久御山町 →京都市 <p>※全国で1万人のランナーが聖火を繋ぎます。</p>	
<p>【主な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆聖火ランナー及びサポートランナー(20名の小中学生)が聖火リレーへ参加 ◆小中学生を対象に、聖火リレー会場に集合(聖火ランナーの送り出しへの参加) ◆オリンピック・パラリンピアンを招聘し、小中学生を対象にオリパラ学習会を開催 ◆市民が現地に足を運んでいただけるよう情報発信に努めるとともに、市民ボランティアの参加を募り、より多くの方に関わっていただける取り組みとする。 	

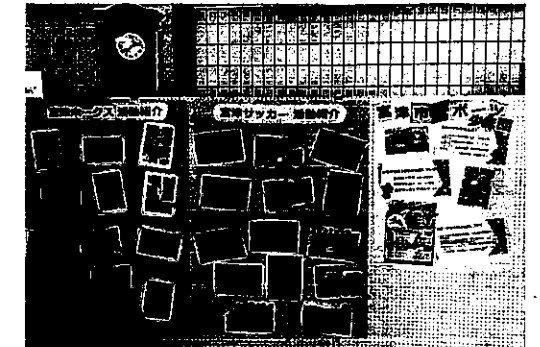
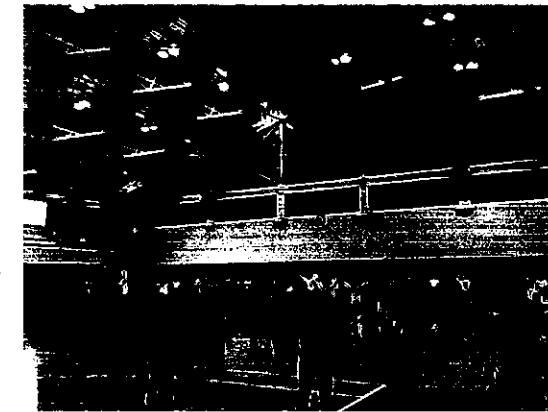
- ◆東京2020オリンピック聖火リレーを契機として、各種施策を展開することにより、市民のスポーツ実施率の向上を図り、豊かなスポーツライフを実現し、健康の保持増進に努める。
- ◆また、小中学生の運動能力の低下が顕著であるとの報告もあり、市民スポーツDAYにおいて、トップアスリートによるボール競技指導等(親子・小学生対象)を実施することで、運動のきっかけづくり、競技スポーツの底上げを図る。

その他の取組状況について

- ◆第2期宮津市スポーツ推進計画に掲げる基本理念「スポーツを通じた人とまちの元気づくりの実現」を目指し、各種施策を展開するとともに、市民のスポーツの拠点である市民体育館のトレーニング機器等の更新を行っているところ。

【市民スポーツDAY】

○子どもから大人まで、市民が参加・交流し、様々な形でスポーツに触れ、体験することで、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現につながる機会になることを目的とした、宮津市のスポーツ団体が共催するスポーツイベント。



OSOMPO ボールゲームフェスタ 2020 と市民スポーツDAY の連携イベント開催(R2)

日本トップリーグ連携機構が主催する地域密着型のスポーツイベントで、主に小学生を対象に、様々な団体ボール競技を体験するプログラム。同機構に加盟するリーグに所属、又所属していたトップアスリートが、スポーツの楽しさや技術を指導するとともに、スポーツを通じて親子のコミュニケーションを図るほか、参加者同士の触れ合いを通して、体を動かす楽しさを体験しながら、基本的な技術の習得や技術力をアップさせる機会を提供し、次世代の子ども達のスポーツライフを支えるイベント。

【市民体育館】

○ランニングマシン更新



【巡回ニュースポーツ教室】

○宮津市スポーツ推進委員が中心となり各地区でニュースポーツ教室を開催



府中小学校

2020年度(令和2年度) 社会教育関係予算 重点要求事項について

2019(令和元年)11月5日(水)
教育委員会事務局 社会教育課長・担当課長

【予算重点要求事項1：地区公民館の取り組み等について】

少子高齢化・人口減少・ライフスタイルの多様化等により公民館事業に関わる方が減少傾向にある中、地域コミュニティの活性化が喫緊の課題となるとともに、地域の課題解決に対する公民館への期待も高まっている。こうした中、これまで培ってきた信頼関係を維持しながら、新たな取り組みを検討・推進する。また、活動の拠点となる公民館の長寿命化について検討する。

◇取り組み方針

【環境の改善】

- ◆日置地区公民館の移転・改築
- ◆各地区公民館の長寿命化に向けた整備検討
- ◆インターネット(HP、SNS等)を活用した、公民館活動の周知(R1にネット環境整備)
- 【活動の見直し】
- ◆各地域で抱える課題をテーマとした「地域課題解決型学習と活動」の実施・検討
- ◆他地区の公民館との連携・協働による広域的な活動の推進
- ◆企業や関係機関等と連携した多角的な活動の推進
- ◆健康広場事業の他地区との連携推進、健康・体力づくりの要素を付加するなど内容の拡充
- ◆コミュニティスクール(学校運営協議会)での取り組みと連携した、学校支援、他世代交流の推進

・旧日置中学校(1階部分)を日置地区公民館として改修及び耐震化未実施の地区公民館について整備検討
・令和元年度に整備した各地区公民館のパソコンを有効活用し、公民館活動への参加者増加を図る。
・各地区公民館活動の新たな展開を検討し、より広域的・多角的な活動を実施することによる、地域活性化を推進

【予算重点要求事項2：生涯スポーツの推進について】

スポーツ実施率の向上を図り、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現と健康の保持増進につなげるため各取組みを推進する。

【取組方針】

- ◆東京2020オリンピック開催に伴う聖火リレーの実施
5月26日に宮津市(天橋立公園内)で聖火リレーを実施。市民のオリンピック及びスポーツに対する機運の醸成を図るとともに、会場内で小・中学生を対象としたオリパラ学習会を開催し、児童・生徒の知識・意識の深まりを図る。
- ◆市民スポーツDAY等の開催
様々な形でスポーツに触れる機会を創出し、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を図る。
- ◆市民体育館トレーニング機器等更新
市民のスポーツの拠点である市民体育館のトレーニング機器更新及びアーナ照明機器改修の検討

・宮津市で開催する聖火リレーに参加及びオリ・パラ学習会を開催
・市民がスポーツに触れる機会を創出し、どなたでも気軽に参加できるように市民スポーツDAY等を開催
・市民体育館におけるトレーニング機器の更新及び照明改修検討

【予算重点要求事項3：ひとづくり・まちづくり・まちなかに資する文化財の保全と活用】

国レベルでの歴史や文化財に係る興味関心や政策効果への期待が高まるなか、市内文化財等の悉皆的調査とその総合的な把握を通じ、本市の豊かな歴史文化の特徴や価値を明らかにし、個別の文化財の保全を図りつつ、ひとづくり・まちづくり・まちなかに資することが出来るよう、本市の総合的な文化財保護・活用について、そのあり方を模索・検討の上推進する。

【市内文化財の総合的な保全活用のあり方の検討】(新規)

- ◆「宮津市文化財保存活用地域計画」の策定(新規：R2～R3年度)
構成(案) ①策定目的・位置づけ
②宮津市の概要(自然地理的環境・社会的状況)
③宮津市の文化財の概要と特徴
④宮津市の歴史文化の特徴
⑤文化財の保存活用に関する方針
⑥関連文化財群に関する事項(任意)
⑦文化財保存活用区域に関する事項(任意)
⑧文化財の保存・活用に関する措置

○「地域計画」とは？
改正文化財保護法に基づく文化庁の新施策(R1～)。
各市町村ごとに策定する文化財保護活用のマスタープラン
・悉皆調査を通じ宮津市所在の文化財を総合的に把握
・文化財をテーマ・ストーリー的に捉えることが重要
・策定に当たっては文化財・教育・まちづくりなどに係る有識者や行政機関、地元関連団体からなる委員会を組織
・策定期間中、機運醸成のための歴史講演会等の普及啓発事業が行える(教育・資料館活用等の視点も持って実施)
・保護・活用にかかる課題解決のため「保存活用に関する措置」(5ヶ年日処の実施計画)を設定する
(歴史資料館の再開、旧三上家の大規模修繕 など)

【宮津市街地地区の重要な文化的景観の選定】(継続～R3年度)

- ◆R3年度文化庁選定申出に向けての「保存計画書(宮津地区)」の策定
- ◆地域合意形成に向けての普及啓発事業・説明会の開催

【天橋立世界遺産登録の推進】(継続)

- ◆今までの研究成果を広く周知するための連続市民講座等の開催(新規)
- ◆市域を越えた情報発信の強化、広域な範囲の機運醸成(拡大)

【その他既存重点事業】(継続)

- ◆市内文化財の指定・登録等の推進(有形・無形の文化財の価値付け)
- ◆市内遺跡(安国寺遺跡)発掘調査事業(埋蔵文化財の保護)
- ◆旧三上家住宅の保全と更なる活用(観光サイドとの連携強化)
- ◆休館中の歴史資料館を活かした体験講座等の実施(教育施設としての活用)

・府中、文殊・天橋立地区、は選定済み(R25・26年度)
・3地区そろって「宮津・天橋立の文化的景観」が完成
・R1年度に宮津地区の「調査報告書」刊行予定
・市内・京都市等における連続講座の開催
・事業を通じ「天橋立ファン」の拡大を狙う
(※プロモーションの視点を持つことが必要)

・既存継続事業については「地域計画」策定の議論を踏まえつつ、修正を加えつつ総合的な施策効果を狙う。
・三上家については観光目的を重視、大河ドラマ協議会と連携の上、観光客施設としてのクオリティ向上を図る
・歴史資料館については学校・社会教育と連携の上、教育施設としての有効な活用策を模索の上実施する

